

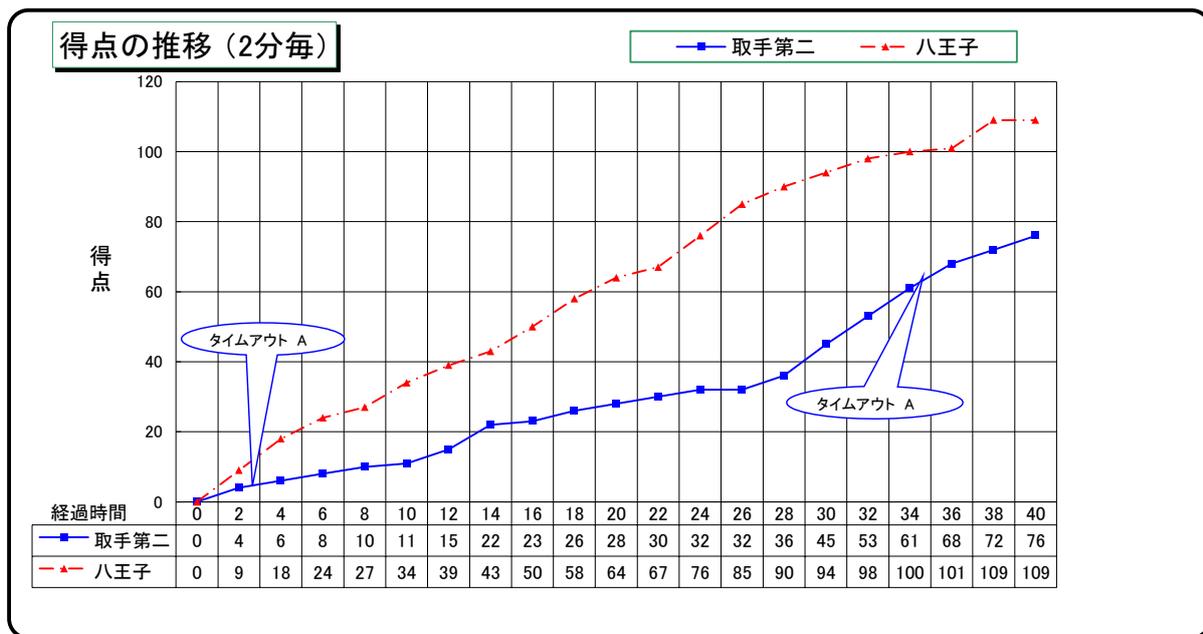
# 平成27年度 関東高等学校男子バスケットボール大会 兼 第69回 関東高等学校男子バスケットボール選手権大会 ＜1回戦＞

平成27年 5月30日(土)	ひたちなか市総合運動公園総合体育館	大会1日目	Bコート	第1試合 9:00～
<b>&lt;チームA&gt;</b> <b>取手第二</b> 茨城		76 $\left\{ \begin{array}{l} 11 \text{ 1Q} \ 34 \\ 17 \text{ 2Q} \ 30 \\ 17 \text{ 3Q} \ 30 \\ 31 \text{ 4Q} \ 15 \end{array} \right\}$ 109		<b>&lt;チームB&gt;</b> <b>八王子</b> 東京
主審: 大山 賢史(栃木) 副審: 坂本 秀樹(埼玉)				

S	No	選手名	得点	3P	2P	FT	Foul
○	4	青野 直斗	6		2	2	2
	5	黒田 将弘					
◎	6	嶋田 直記	11		5	1	
◎	7	糸澤 大樹	2		1		
○	8	海老原 詢					2
◎	9	中山 ケンマ	30		14	2	4
◎	10	安楽 理生	8	1	2	1	1
○	11	中井 建	4		2		
◎	12	渡邊 凌介	8		4		2
○	13	小吹 光	5	1	1		1
○	14	飯野 理剛					
○	15	渡辺 力也					
○	13	吉野 純貴	2		1		1
○	14	村井 源哉					
○	15	伊多波 瑛					
コーチ 佐藤 豊文							
合計			76	2	32	6	13

S	No	選手名	得点	3P	2P	FT	Foul
◎	4	新屋 広晃	20	4	3	2	
◎	5	布田 南樹	4		2		1
◎	6	竹村 龍	7	1	2		
◎	7	ドウドウ ゲイ	25		12	1	3
◎	8	多田 武史	31	7	4	2	1
○	9	上地 輝斗					1
○	10	吉田 麟太郎	9		4	1	1
○	11	佐藤 杏樹	2			2	1
○	12	斎藤 大海					
○	13	川村 僚	2		1		1
○	14	佐村 直紀					
○	15	伊地知 大智	2		1		1
○	16	根本 拓真					
○	17	黒谷 瑛太郎	2		1		
○	18	オト 輝恵	5		2	1	
コーチ 石川 淳一							
合計			109	12	32	9	10

◎:スターター / ○:出場 / 3P:3点シュート(本数) / 2P:2点シュート(本数) / FT:フリースロー(本数) / Foul:パーソナルファウル



戦評	記入者: 木曾 尚樹
<p>第1P、取手第一はゾーンプレスから2-1-2ゾーン、八王子はマンツーマンでゲームスタート。序盤は八王子の一方的な展開となる。八王子⑧多田の3P、⑦ドウドウの高さを生かしたゴール下シュートで得点していく。残り7分で取手第二のタイムアウト(6-18)。タイムアウト後も八王子は⑦ドウドウを中心に得点を重ねる。残り3分、取手第二はディフェンスをマンツーマンにして流れを変えようとするが、⑧多田のフリースロー、⑩根本の得点で突き放す(11-34)。</p> <p>第2P、取手第二は激しいプレッシャーディフェンスから八王子のターンオーバーを誘い、⑩安楽のドライブイン、⑥嶋田のシュートで追いつける(22-41)。しかし、激しく高さのある八王子のディフェンスを意識してしまいシュートが落ち始める。その間も、ディフェンスから走って得点を取るスタイルを変えずに八王子は、④新屋、⑧多田の3Pで点差を広げて第2P終了(28-64)。</p> <p>第3P、八王子はマンツーマン、取手第二は再び2-1-2のゾーンで後半スタート。八王子は確実にディフェンスリバウンドを取り、④新屋のドライブイン、⑩吉田のバスケットカウントなどで得点する。取手第二は第2Pと同様に高さを意識して得点することができない。第3Pの残り4分を切ってお互い集中力が乱れオフェンスのターンオーバーが目立ち始める(32-85)。その後取手第二はマンツーマンに変え、⑨中山のスティールやドライブインなどの連続得点で食らいつく(45-94)。</p> <p>第4P、八王子は控えのメンバーを出場させる展開となる。取手第二は⑪中井果敢なドライブインなどで得点を重ね追いつけを見せる。残り5分、取手第二がタイムアウトを取り、その後は取手第二も控えメンバーを出場させる展開となる(61-100)。最後は両チーム得点を重ね76-109で八王子が勝利した。終始八王子の高さや走りを生かした試合となった。</p>	